

合格 就職 良縁 御利益 !?



①オープンキャンパスに訪れた高校生(左)らに「ご祈禱せんべい」を配る学生たち(羽曳野市の四天王寺大で) ②学生アイデアで五重塔や学校のエンブレムをあしらった包装袋

学生発案「太子せんべい」

せんべいを食べて、太子の御利益にあやかろう……。聖徳太子が建立したと伝わる「四天王寺」(大阪市天王寺区)にゆかりがある四天王寺大学(羽曳野市)の学生たちが、学業成就や就職などへの願いを込めたオリジナルパッケージの「ご祈禱せんべい」を商品化した。大学を訪れた一般人の人に販売するほか、受験生らの大学見学会イベントの記念プレゼントにしている。「御利益で願いをかなえたい」と好評という。

同大学は、高校生や受験生に大学の実情をってもらう「オープンキャンパス」の際、大学名が入った筆箱や修正テープなど「真面目な」文房具を大学関連のお土産グッズとして配ってきた。

しかし昨夏のイベントで来場者にアンケートしたところ、「食べられるプレゼントだとうれしい」との回答が多く寄せられ、現役の学生グループで若者の心を捉える品は何かを話し合った。結果、「若者の関心事は学業成就、就職成功、良縁祈願だ」と分析。祈禱せんべ

いを新たなグッズに加えることにした。

あえてせんべいを選んだ理由は、一つは賞味期限が長いこと。もう一つは四天王寺の前に店を構え、釣り鐘形のまんじゅうで有名な老舗和菓子店「総本家釣鐘屋」から一口サイズの卵せんべいの提供を受けられるのがついていたためだった。

包装袋は、学生に公募した中から、同寺の五重塔と卵せんべい、学校のエンブレムをあしらう図柄を選んだ。せんべいは同大学理事

四天王寺大 理事長ご祈禱済み

長で、高僧としても知られる瀧藤尊淳氏が同寺で祈禱し、霊験あらたかとなるよう後押しする。

6月に行ったオープンキャンパスでは用意した800袋が午前中でなくなり、8月に2日間行った見学会でも2500袋がはけた。

一般向けとして7月からキャンパス内の売店、食堂、カフェでも販売を開始。1袋(10枚入り)100円(税込み)とお値打ちなことに加え、「聖徳太子の知恵にあやかれるかも」と期待し、同大学を志願するかどうかに限らず、多くの受験生や、受験生の子をもつ親らが訪れているという。

商品開発のプロジェクトチームのリーダーを務めた人文社会学部3年の樋口裕人さん(20)は「人気を呼ぶ商品が完成し、苦労したかがあった。これを食べて多くの受験生が四天王寺大を志願してくれれば、もちろん私も単位を取るため購入します」と笑顔を見せる。せんべいに関する問い合わせは同大学入試・広報課(072・956・3181)へ。